

ヘリサイン整備 について

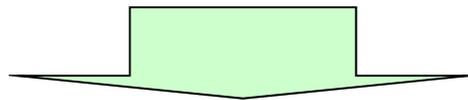
熊本県

ヘリサイン整備のきっかけ

■ 被災地派遣の県防災消防航空隊の報告

土地勘の不足

被災地の様相変化

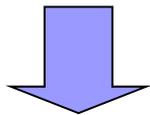


要救助者等の位置情報伝達の困難さや救助の時間的ロスが発生

事業の目的

ヘリサイン整備により

- 県外からの応援ヘリコプターが活動する際の施設識別を容易にする。



- 被害状況把握や救助活動の迅速化に効果。



熊本県防災消防ヘリ「ひばり」



整備概要

- 県内全域にヘリサイン表示を一括整備

【整備箇所の内訳】(全95か所)

(1) 県防災拠点施設(12か所)

県庁舎、地域振興局、県消防学校

(2) 市町村防災拠点(83か所)

庁舎、小中学校(避難所)、病院等

総事業費: 36,063千円(予算43,800千円)

施工例

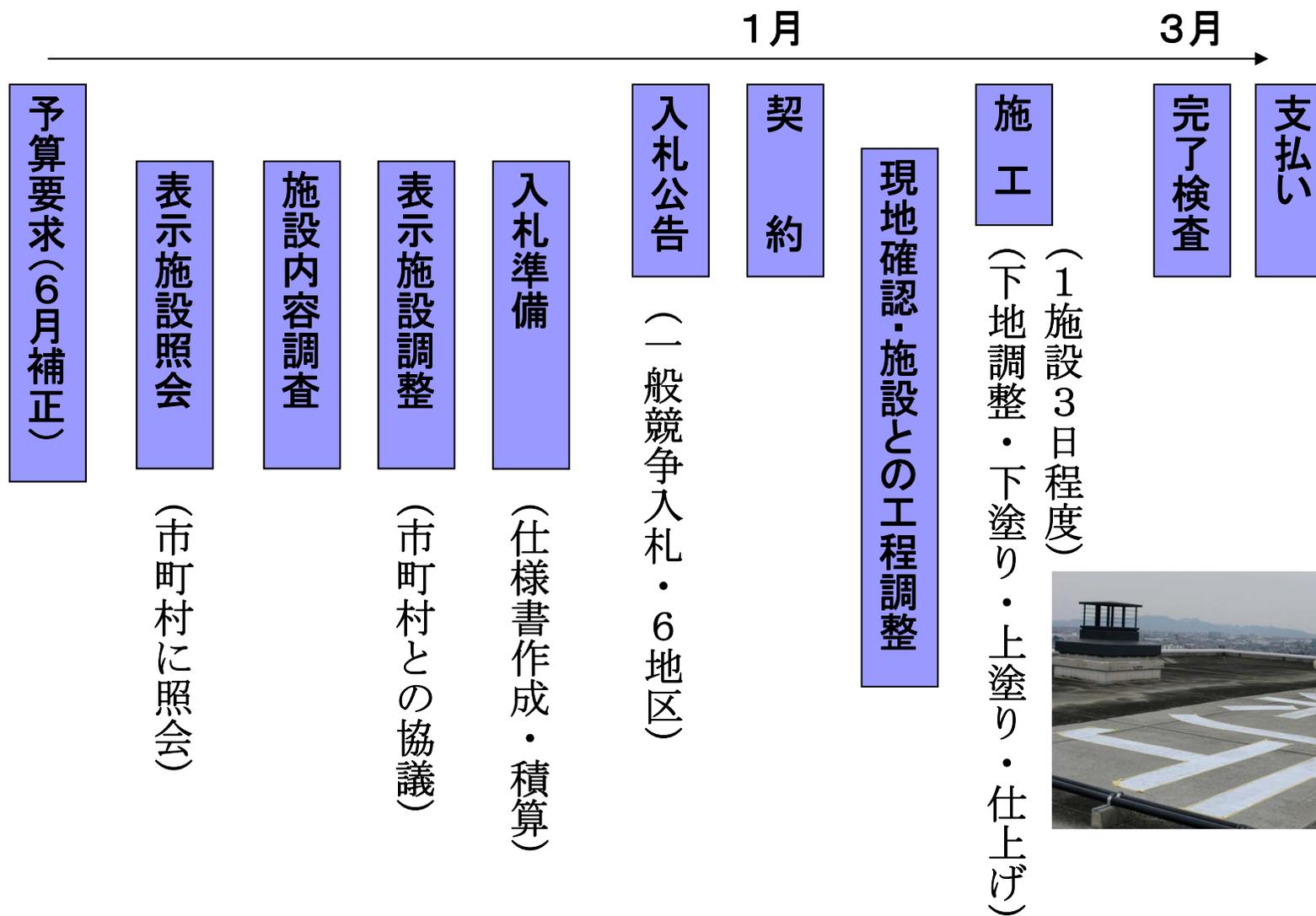


上益城郡益城町庁舎



球磨郡球磨村庁舎

整備の流れ

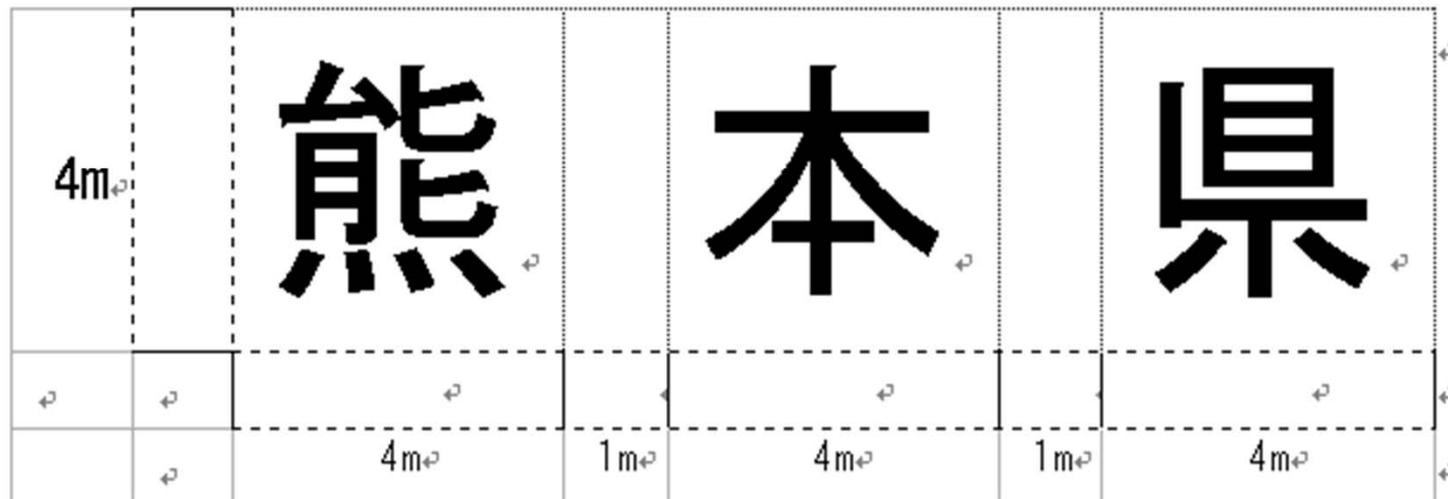




表示方法

- (1) 文字の天の方向は、原則として北向きとする。
- (2) 文字は、横書きとする。
- (3) 一文字の大きさは、縦4m、横4m、文字の間隔は1m、線の太さは30cmとする。
- (4) 文字の色は、イエローとする。
- (5) 文字はゴシック体とし、施設名を表示。

表示例（3文字の場合：縦4m×横14m）



※「消防防災ヘリコプターの効果的な活用に関する検討会報告書」
（平成21年3月 総務省消防庁）をベースに設定